

英語コミュニケーション科の特徴

「明るく・楽しく・面白く」「英語嫌いを出不さない」授業スタイルにこだわって担任とALTが手探りで授業を考えている。特徴として以下の点が挙げられる。

- 1 ALTがT1, 担任がT2の役割を果たす授業を基本としている。担任は授業中, T2であるが, 担任は, T2として授業のマネジメントを行う。また, 担任がALTと積極的にコミュニケーションをとり, 彼らの良さを知ることが重要と考えている。
- 2 アクティビティを中心に, 1時間たっぷり活動させる。その授業で「何を育てるのか」「どのように育てるのか」「コミュニケーション能力の中のどんな力を身に付けさせたいのか」を明確にしたアクティビティを考えていくことを大切にする。
- 3 ALT(ネイティブ)が話す英語を1年生から6年間, シャワーのようにたっぷり聞かせることをベースとした言語活動に取り組ませる。
- 4 児童同士, 児童とALT, 児童と担任によるコミュニケーション活動を, 発達段階に応じた題材を介して, 繰り返し指導していく。そのために, 目の前の学級の子供たちの実態から授業を考えることを大切にしている。

★ 松ヶ浜小児童へのアンケート (R5の結果より)

【Q. 英語コミュニケーションの授業は楽しいですか?】

	とても楽しい	楽しい	少しだけ楽しい	楽しくない
松ヶ浜小	50%	37%	6%	7%
	87%		13%	

【Q. 英語を使ってもっとできるようになりたいことは何ですか? *複数回答】

松ヶ浜小	英語で話せるようになりたい	英語で簡単な意見発表ができるようになりたい	英語を聞き取れるようになりたい	英語の文を書くことができるようになりたい
	77%	33%	59%	60%



・「とても楽しい」「楽しい」と回答した児童は87%と高い結果である。また、「英語を話せるようになりたい」という意欲が77%と高く、それが日々の英語コミュニケーション活動での活発な活動につながっている。

【成果と課題】

- ゲームの楽しさ→ゲームを通じた英語の楽しさ→英語を使ったコミュニケーションの楽しさという流れを踏まえた効果的な授業の実践ができている。児童は英語コミュニケーションに積極的で, とても楽しみにしている。
- 振り返りの時間に, 感想に加え思考的要素(Why? Because~)を取り入れることで充実した学びにつながった。
- ▲ 「書くこと」にどのように取り組むか。

